

HPVワクチンを受けた

お子様と保護者の方へ

# ワクチンを受けた後は、 体調に変化がないか 充分に注意してください。

もしも、気になる体調変化があった場合は、  
このリーフレットを参考に、医師に相談してください。



当日

## ワクチンを受けた後30分ほどは 座って様子を見てください。\*

\*ワクチンを受けることに対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて、時に気を失うことがあります。  
血管迷走神経反射という誰にでも起こる可能性がある反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。  
たお 倒れてケガをしないように  
背もたれのあるイスに座って休みましょう。



## ワクチンを受けた日は はげしい運動はやめてください。

数日後  
から  
数週間後

## 気になる症状が出たときは すぐにお医者さんや周りの大人に相談してください。

具体的な症状を裏面に掲載していますので、参考にしてください。

### ワクチンを受けても、子宮けいがん検診は必要です

ワクチンを受けた人も、20歳をすぎたら2年に1回、必ず検診を受けてください。  
ワクチンで防げないタイプのHPV(ヒトパピローマウイルス)もあります。

以下のような症状が出たら、お医者さんや周りの大人にワクチンを受けたことを伝えて、相談してください。

- 注射の針を刺したときに強い痛みやしびれを感じた
- ワクチンを受けた後に、注射した部分以外のところで痛みや手足のしびれ・ふるえなど気になる症状や体の変化がある



## 起こるかもしれない体の変化

多くの人に起こる症状*	<ul style="list-style-type: none"><li>● 注射した部分の痛み、腫れ、赤み</li><li>● 疲れた感じ、頭痛、腹痛、筋肉や関節の痛み</li></ul>
その他の症状	<ul style="list-style-type: none"><li>● 注射した部分のかゆみ、出血、不快感</li><li>● 発熱、めまい</li><li>● 発しん、じんましん</li><li>● 緊張や不安、痛みなどをきっかけに気を失う</li></ul>

\*接種を受けた人の10%以上に起こった症状



## まれですが、起こるかもしれない重い症状

- 呼吸困難、じんましんなどを症状とする重いアレルギー（アナフィラキシー）
- 手足の力が入りにくいなどの症状（ギラン・バレー症候群）
- 頭痛、嘔吐、意識の低下などの症状（急性散在性脳脊髄炎（ADEM））

## ＜痛みやしびれ、動かしにくさ、不随意運動について＞

- ワクチンを受けた方に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動（動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと）などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています。
- ワクチンを受けていなくても、こうした症状のある方もいることが分かっています。

## HPVワクチンに関する相談先一覧

### 接種後に、健康に異常があるとき

→ 接種を受けた医師・かかりつけの医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関  
※協力医療機関の受診については、接種を受けた医師又はかかりつけの医師にご相談ください

### 不安や疑問があるとき、困ったことがあるとき

→ お住まいの都道府県に設置された相談窓口

### HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談

→ 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

### 予防接種による健康被害についての補償（救済）に関する相談

→ お住まいの市区町村の予防接種担当部門

厚生労働省のホームページでは、  
HPVワクチンに関する情報をご案内しています。

厚生労働省 子宮けいがん

